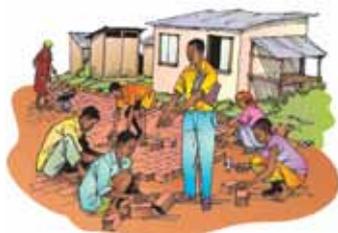


## LBT (Labour Based Technology) 研修能力強化プロジェクト (第2年次)

### 1. LBTってなに？

道路の建設工事、特に海外援助がついているプロジェクトでは、海外の建設業者が輸入された建設材やブルドーザーなどの大型建機を用いて施工するのが一般的です。その方が早く、しかも丈夫な道路が作れるからです。しかし、それでは、工事費のほとんどが海外に流れてしまい、地元に着くお金はごくわずかにすぎません。例えば、道路工事の場合、一般的な工法では機械費 50%、資材費 40%とされており、現地の労働者に渡るのは僅か 10%以下とされています。



これに対し、LBT 工法は、農耕用のトラクターなど小規模の機械やくわ、すきなどの農具を用いた人力施工によって道路建設を行うもので、建設費の多くは地元の労働者に行き渡っていきます。さらにそのお金が労働者の日々の消費に使われることで、地域経済の活性化に寄与し、雇用の促進を図ることも意図しています。また LBT は、地元で入手可能な材料を用いて建設することを基本としているため、資材購入の資金が地元へ渡るだけで

なく、補修や修理が容易にでき、自分たちの手で道路を良い状態に維持することもできます。例えばアスファルトやコンクリートを用いる一般的な工法では、材料や機材が入手できないため、補修が思うようにならず、折角良い道路を作っても損傷が早いことは皆さんもご承知かと思えます。まさに LBT は、タンザニアの人達自身で管理可能な道路建設と維持管理の工法なのです。

### 2. どんな道路が対象になるの？

タンザニアの道路は国道から村道レベルに大別されますが、LBT の対象とするのは農村と幹線道路を結ぶ地方の住民にとって最も身近な生活道路です (Feeder Road)。このような道路が整備されないために、農民は作物を消費地に輸送できない、あるいは雨期に交通手段がなくなってしまうなどの問題を抱えています。これに対し、LBT は、人件費と地元で調達できる資材費のみで建設可能なために、安価に建設することが可能であり、特に農村部への道路整備に効果が期待されています。



### 3. JICA の支援とプロジェクトの概要



タンザニアでの LBT に関する中枢の技術研修機関は、Mbeya に位置する ATTI (Appropriate Technology Training Institute) です。ATTI は、官民の技術者を対象に LBT 技術の研修を行っています。JICA は、ATTI の活動を研修のみならず、LBT の普及促進にまで拡大することを目的として、昨年より技術協力プロジェクトを開始しました。プロジェクトでは、他国のドナーとも連携を図りつつ、主に研修の機能強化の支援を行っています。期間は 4 年間です。

さて、隊員の皆さんの任地でも道路が悪いところは多いと思います。道さえよければ村人の生活はもっと良くなるのにと考えたことはありませんか。そんな時はこんな方法もあるよ、ということで是非 LBT や我々 ATTI を紹介してやってください。ATTI はそんな村人が主体となって道作りを進めるための技術的なお手伝いをしたいと思っています。道のことでご相談や困ったことがあれば、どんなことでもお気軽に下記プロジェクトの担当者へご相談ください。それでは皆さん Kazi Njema na Kribu Sana!

#### **ATTI 及び LBT に関する連絡先**

LBT 研修能力強化プロジェクト・チームリーダー 徳永 達己: 日本技術開発(株) 国際事業部所属  
e-mail [tokunagata@jecc.co.jp](mailto:tokunagata@jecc.co.jp) 携帯 +255-787-710-257